

1998年10月号

Enfanter ● No.242

# あんふぁんて

Enfanterとはフランス語で

①子を産む②(計画などを)考え出す③(作品などを)創り出す、の意

「おはよう」  
オッ、声が明るいわー  
「パン、第一段階クリア」  
「パンにしよう? パンにする?」  
「パン」  
オッ、まともな返事  
いいえ、いいえ  
8時、ボンキッキが始まる  
「いってきます」  
エレベーターの前で手を振る  
「や、たー、今日はちゃんと行、たぞー」  
叫ぶ私  
さて、ゆっくりコーヒーでも入れよう  
毎日、飽くといいな、こんな朝

詩・長田  
イラスト・長田



特集

## 不登校

- ・新入会員自己紹介コーナー
- ・ひとこと伝言板
- ・情報コーナー

- P7 ・交流会報告
- P8 ・あんふぁんてからあんふぁんてへ
- P15 ・覚えていますかチェルノブイリを

P2  
P8  
P12  
P16



かなくとも授業を受けられるようになりまし  
た。ただ、六月の漢字五十問テストと友達と  
のトラブルがきっかけで、また行き渋るよ  
うになり、また私が学校へ同行しています。  
授業中ずっと教室にいるのはつらいですが、  
去年のようにいやがる子を抱きながらとい  
うのは違うので、気分的にだいぶ楽になりま  
した。でも、やはり体にはきつきました。よう  
で私はこの四月に血圧が上がり降圧剤を飲むよ  
うになってしまいました。

また、昨年から学校の教育相談というのを  
利用しています。カウンセラーの先生と月に  
一度面談して話を聞いてもらっています。その  
先生とは相性が良く、これなら一年生の時か  
らお願いすればあんなにつらい思いをせずに  
済んだのじゃないかと思いつきました。娘につ  
いては「嫌なことばっかりだと言っているのは  
良いことだ」と励まして下さり、私には「頑  
張りましたね、あまり無理しないで」と癒して  
下さいました。

今私は、よその人の目が気になる自分と過  
去を後悔する自分をちょっと横へ置いて、自  
分の子どもを育てるのは私と夫なんだという  
気持ちを持ち、娘のそばに立ち見守る気持  
ちを大切に、あくまでも無理せずあせらず、  
できることをやっていくと思っています。

学校へ行かないや人生だめになるなんてこ  
と、全然ないのです。自分の生き方を自分  
で創っていく力が大切なのではないでしょ  
うか。三年生になった娘は、声が大きくなり  
表情も明るく、腫れも力がわいてきました。  
学校について来て欲しいと言われれば行き、  
休みたいと言われれば様子を見て休ませます。  
不登校の理由なんて、不登校の子どもの数

だけあると思います。こうすれば行くなんて  
処方箋はないと思います。私として夫にとっ  
て、子どもの元気と明るい笑顔が嬉しいので  
す。大切にしていきたいです。

幼稚園でのことがきっかけで  
八王子市 匿名希望  
娘が幼稚園に入る間際に引越したため、  
詳しい評判もわからないまま少数制が売りだ  
という幼稚園に決めた。しかし、それが間違  
いだったかもしれない。娘が年長になると、  
クラスの人数がそれまでの倍の三十名にな  
り、担任は怖いと評判の先生。あまり子ども達に  
愛情を抱いているように見えなかった。娘  
の外靴のかざりが引きちぎられていた時も、  
「探してもみつからず、何人かに聞いても知  
らなかった」との対応。私の中で、担任に対  
し、なんとなく不信感が芽生えつつあった。  
娘も何かを感じたのか、もしくは物を取ら  
れたことが傷になったのか、その頃から登園  
をいやがるようになった。毎朝起きない、大  
泣きする、親はだめすかしたり怒鳴ったり  
して無理矢理着替えさせ、引張って連れて  
行く。ご近所の目も気になり、何でうちだけ  
が？と憂鬱だった。担任は、「くせになるか  
らとにかく連れて来て」の一点張りだった。  
二ヶ月ほどして親子共々ヘトヘトになった頃、  
娘は今度はお腹が痛いと言い出し、実際に下  
痢をした。病院に連れて行っても異常なし。  
「こんな思いをさせてまで行かせたくない」と  
思っていると、同じクラスのお母さんが、  
「先生が、Yちゃん(うちの子)みたいな子  
ははじめてだって言ってたわよ。あんまりよ



学校に行けない子が十万人を超したとか。  
今の学校を見ていると、それも当然という気  
がする。点数主義・競争主義で、一人一人の  
子どもの心ややる気を育てようという学校。  
自分の気持ちを伝えることも、相手の気持ち  
をすることもできない子どもたち。大人の  
社会のゆがみが弱い子どもたちの世界をも  
めいていると思えない。

親が甘やかしたから学校に行けない子にな  
った！と言う人もいるけれど、それだけで説  
明がつかない状況ではないのだ。学校へ行  
けなくなつたことで、親も子ども自身もど  
れだけ苦しんだかを知って欲しい。そして、今  
までの価値観にとらわれず、一人一人の子  
が自分らしく生きられる道を探して欲しい  
と思う。

(特集まとめ・川崎)



長女の不登校についてお話しします  
大和市  
現在長女は小学校三年生です。おととしの  
四月、ルンルの状態で入学して約二週間、  
「今日楽しかったことなあに？」の質問に、  
「わかんない」と返すようになって数日後、  
「学校行くのいやだ」が始まりました。その  
時は原因追及に躍起になりましたが、今思  
うところ、いやな場所」になったようです。  
確かに四月末頃から一緒に教室に入りそこ  
で起きている事を一緒に体験した私が、こんな  
ひどい所なら来たくないのも無理はないな  
と思うほどでした。先生のイライラ、怒声、  
体罰、子どもの怒声、いじめ。娘は学校に  
近づくと足が痛くなり、おなか痛くなり、  
体がふるえだしました。

そんな娘が唯一心を許したのは、校長先生。  
学校をいきなり初めて学校の玄関で大泣きし  
た時、たまたま子ども達の様子を覗きにな  
ってらした校長先生は、とっても優しい笑顔で  
受け止めて下さいました。そして一年目は校  
長室登校という次第になったのです。ほとん  
ど家に閉じこもり状態でしたが、週一回以  
上それこそ三十分でも一時間でもかまわな  
いという事で、一緒に校長室へ出向きました。  
六才のこんなちっちゃな子でも、家ではい  
わゆる「ひきこもり」と同じで、外へ出たが  
らない、出る時はフードをかぶったりマスク  
をして顔を隠す、風呂に入りたがらず、食欲  
なく、朝起きない。不登校は病気ではないの  
に、不登校という状況の中で体が弱ってしま  
い、病気になるかやすすくなりました。

私の方は、「なぜなんだ」という思いと  
周囲からの「甘やかしてんから」「むりやり  
連れてきやいのよ」などの親切な(?)ア  
ドバイス(社宅住まいなので?)で、当然  
落ち込みました。秋には私も鬱っぽくなり、  
精神的にまいってしまいました。不登校に関  
する本も色々読みましたが、励まされるもの  
もあれば吐き気を催すものもありました。  
この時学んだのは「教育の義務」という  
は、子どもが学校へ行く義務ではないとい  
うこと。そして、望めば同じ学年をもう一度  
できるが、進級もできるということでした。  
二年生になり担任の先生が変わり、とても  
明るくて子どもが大好きで熱心な先生でした。  
弟が幼稚園だったので、送り迎えのため遅刻  
早退をしながらお休みもしながらですが、娘  
と一緒に学校へ通いました。一年かかって、  
やっと教室が自分の居場所になりました。ま  
だ「学校は嫌い」と言い、夢にうなされたり  
夜泣きしたりしてましたが、授業は拒否し、  
自分の席になかなか座らず、私に抱きついたり、  
背中しがみついたりした状態が多かった  
ですが、先生がいつもにこにこ対応して下  
さったので、心を開いてきて笑顔も出てきま  
した。友達も少しでき、一人で遊びに行  
り来てもらったりもできるようになりました。  
三年生になり、またクラス替えし担任の先  
生も変わりました。とても心くばりの細やか  
な熱心な先生になり、娘も初めからの細やか  
な対応のおかげで、一年生になった弟が活発で、  
朝や休み時間によく姉の教室をのぞきに  
来ました。娘も弟と一緒に姉の教室をのぞきに  
来ました。四月末から五月にかけては、私が行



**不登校の話** 上福岡市

長男は小学校四年生の頃よく休み、一年間で三十四日。「おまえ、一ヶ月以上も休んでたんだねえ」なんて笑いました。現在中二、部活大好き少年で、朝に夕に演奏にはげんでいます。勉強はあいかわずキライですが、学校へは部活をやりに行っています。

次男は不登校真っ最中、たぶん兄の記録を更新することでしょう。もともと低血圧気味で、それは先生にも話しているのだけど、親が甘やかしてなまけてきていると思われているようです。本人は家では料理も掃除もしてくるので、働く母にとって強い味方です。だから、根性がないというのとは違っていると思うので、気にしていません。もっと時間をとって先生と話した方がいいのだけれど、むずかしい。

末の娘はドジでろいものだけれど、努力しています。先生の目にはそうはうつらないようで、この人も時々おなか痛くなってしまうようです。やはり担任が、私が甘いと思っています。娘は無理してがんばっているのだけれど、娘は無理してがんばっているのだけれど、他の面でフォローするつもりでいるのだけれど、最近またかなり不当な扱いを受けているようなので、どこかに相談に行かねばと思っています。

私は集団が大キライだったので、別にわざわざ学校にあわせる必要はないと思っています。ただ、多少の困難でメゲてもらっては困るので、一応行って欲しいかな。その場で学



ぶこともいろいろあると思うし、子はいずれ一人立ちするもので、いつまでも私がみてはやれないし、その訓練を学校でやって欲しいと思うから。

ただ、あまりに不当な扱いであれば別に休んでもいいと思う。何で休んだか、本人とよく話し合います。親と子で、何がどうなっている、本当はどうしたいのか、そういうことが三年生ぐらいなら話し合えると思います。あまり小さい子だと言葉にならないことも多いから、むずかしいのかもしれない。ま、多少学校に行かなくなったからって、たいしたことないと思うんです。だって私自身、小学校の頃から授業さぼってましたもん。でも、一応大人になったしあまり普通とは言えないかもしれないけど、人並みの社会生活送っているし。

あまり心配でくらくらしている人に、大丈夫よ！って言ってあげたい。なるようになるって、親が信じてあげて欲しい。偉そうに書いたけど、それでけっこうやっていけると思うから。

**母親と息子の不登校体験記** 町田市

不登校とは何日ぐらいを指すのだろうか。息子は四、五日だった。私の場合は四日行っただけで、二日休むを月に二、三回くりかえしていたが、これも不登校に入るのだろうか。ズル休みとどこが違っていてどこで線を引くのか。それとも、質の問題なのだろうか。私の中ではまだあいまいなままです。

現在高2の息子は、小二の転校直後「学校に行きたくない」と言った。保育園も時々行きたがらない時があった子だ。現在でも集団行動はあまり好きではないと言う（私もそのくち）。でも一つ違いの姉は、多少の熱があっても学校は休まず行く学校大好き人間。この差はなんなんだ。同じように転校はくり返したのに。

息子が小二の時の「学校イヤダ」の原因は転校生に対する好奇心からくるいたずら（靴、教科書隠し、イスの上に押しピンを置くなど）だった。一日の大半をそんな中で過ごす身になったら、新しい環境で先生も身近ではないし、「まあムリないか」と思った。休ませて家の仕事（自営業で店の掃除など仕事は豊富にあった）を登校から下校の時間までやることで約束された。学校には「こういう理由で少し休ませるので、クラスの皆と話し合っしてほしい」とお願いしたところ、一日置いて、迎える用意ができたので登校させてくれという電話がきました。本人がまだイヤだというので待ってもらいました。

三日目あたりからは、「息子にあいそうな他の学校みたいなのも探しておきな



ら離れていたで、疲れているのだろうし、先生も「無理しないで」と言ってくれて、いろいろ協力してくださった。でも、毎週のように休み明けには行き渋る。理由を聞いても言わない。しかし、いったん学校に行けば元気に遊んでいるのに。たびたび休みが続くとこちらも時々ヒステリックになってしまういけないとはわかっていても。

昨日（七月初旬）は、夫に頼んで出勤を遅らせてもらい、無理矢理泣いていやがる娘を学校に連れて行ってもらった。校門で、クラスの子が「また泣いてるの？」と言ったそう。そんなことも遠因なのだろうか。でも、昨日連れて行ったのがきっかけになったのか、今日はなんとか行ってくれた。本当はほっとする。

先日、思い切って地域の不登校の親の会に顔を出してみた。皆アドバイスしてくれた。聞いてもらえて少しすっきりした。同じ思いの者同士（中高生の親がほとんどだが）これから先が長い短い不安もあるが、親も子も少しでも焦らずたくましくいけたらと思う。ただ一つ、長引く発端となったあの不誠実な幼稚園に対しては、いまだに胸に落ちない思

**不登校・娘の場合** 神戸市

小学三年の二学期より少し見えていた麻里の不登校が、小四に決定的になり、昨年は悲惨でした。欠席数としては少ないのですが、遅刻が一年のうち五分の一ほどあり、家では学校に行きたいけどいけなくて暴れまわり、泣き叫び、物を壊し、地獄のようでした。小五になって少しましにはなりましたが、相変わらず「キレる」という状況はひんぱんにあります。どうしてそうなったのかという経緯を書きたいのですが、何度書いてもうまく書けず、あきらめました。

幸いなことに、今の学校は一学年八十四名くらいしかいないので、非常に目が届き、学校全体で学校に來にくい子どもをフォローする態勢が整っています。担任の先生から電話があったり、お迎えに来て下さったり、まあ復興担当というフリーの先生がいて、特に不登校の子とも深く関わって下さっています（阪神・淡路大震災以降で来たそうです）。また、カウンセリングも学校から紹介して下さい、そこに毎週親子で通っています。

どうして学校に行けなくなったのかは、人によって違うし、私自身も「これが原因かな」と思うことはあっても、「これだ」と決定することができないと思っています。一つの原因だけでなく、いろいろなことが複雑に絡み合っていて、その状況になっているのだと思います。それを一つずつ探ってほぐして、取り除けるものは取り除いて、その繰り返しをするうちに、遅刻の数やキレる回数が減って行くのではと思います。そして回数を重ね



ると「アッそろそろ危ないな」というカンのようなものが働き、事前に手を打つこともできるようになってきました。

今、私はいつも心の中に麻里の事があります。弟の浩幸（現在一年生）が極少未熟児で生まれてある程度安心できるまでは、いつも浩幸が気がかりでしたが、今は反対になりました。でも、もし麻里が不登校や暴れることをしなかったら、ここまで麻里の気持ちを知ろうとはしなかったと思います。彼女が変になっただけで、何とか理解したいと今まで以上に努力するようになりました。結果はまだ見えて来ませんが。

いろいろ試行錯誤を重ねながら、「学校に行かなくてもいい」と思えるようになるまで一年近くかかりました。学校に行かなくても生きていく術を身につける場所はあるだろうし、「学校は行くべきもの」という考えを捨てると自分も楽になり、子どももスムーズに行けることが多くなりました。表面上、学校に行けないというのとはとても大変だし、普通ではないと見られがちですが、何かをずっと我慢しながら学校に行っている子ども達よりはむしろ、今は本人は楽なのかもしれません。私自身、今、物事を点でとらえるのではなく、円でとらえるよう、さまざまな方向から見られるように意識しています。これも、麻里のおかげかな！と思っています。

物事、プラスに考えましょう！そこに行き着くまで時間はかかりますが。







◇異世代間交流  
へあんふぁんてが生まれてはや二五年、その当時母になりたてだった人達も、いつの間にかベテランに、そして今日も子どもは生まれ新米ママが生まれる。いろんな人達が織り成す出会いはあるだろう。会報の投稿に年齢を出さないの?という質問もありましたが、年齢や世代にこだわらず、それらを越えた交流ができるのもあんふぁんての特徴、いろんな人達の持ち味のおもしろさにかかわること味わう、それがあんふぁんての醍醐味の一つでもある。

◇最新の近隣リストが欲しい時は?  
（趣意書にも書いてありますが、会員リストは住所が変わった場合と本人から要求があったとき、送っています。）

◇質問  
「あんふぁんての基本的な、一緒に何かをやるようにあります。そのためのリストです。使い方は会員一人一人の良識に支えられています。もし、自分の上を載せる」とについて、何かよほどの事情がある場合は、事務局にご相談ください。」

◇ナマの関係作りはどうやって?  
「ナマの関係作りが、あんふぁんての真骨頂!そのために会報があり、会員リストがある。使い方は、会報で仲間を呼びかけたり、会員リストでコンタクトをとるなど。また、既に活動しているところを覗いてみるという手もある。」

◇入会して四年、今までに二度特集を担当しました。会報を通じて知り合った友達と、遠隔地でしたが無事完成させること

## ◎交流会報告

今年のあんふぁんては!

私はここよーと

声をだして

一緒に何か かわわって みよう



八月二十七日(木)池袋のエポック10にて、名古屋のメンバーも駆けつけ一七名の参加者で、これから一年のあんふぁんての方向を決める来期案決定交流会が行われました。そこでの話し合いの結果を、八月号P9の順番に沿って報告します。

◇会報について

へあんふぁんての最初の一步は、会報を読むことから。会報を通して自分自身の発信をしたり、他の人の意見や考え悩みなどを知ったり共有したりします。アンケートに寄せられた会員の意見などを紹介します。

・入会して四年、今までに二度特集を担当しました。会報を通じて知り合った友達と、遠隔地でしたが無事完成させること

ができました。特集って「やる気」さえあればだれにでもできますよ。参加の方法は、紙面上で仲間を募集して(例:「私は〇〇について特集をしたいけれど、助けてくれる人いませんか?」みたいなスタッフ作りから。それと、他の育児雑誌のマネみたいだけど、一つの意見相談について、いろいろな人に意見を求めるとか。:(但し、掲載まで時間がかかるので、急いで答えがほしい場合はムリ)何も無いところから文章を作り出すのって本当に大変だと思うけど、なにかキツカケがあれば、より多くの会員が参加できるのではないかと思います。

会報とわたしという関係では、特集など時々、わたしの興味と時間的なずれがあったりして、必ずしもわたしにとってタイムリーではないときもあります。でも、自分のアンテナに引っかかるものそうでもないもの、また、おもしろいおもしろくないという感情も引くくるめて、わたしにとっては、育児サークル的な集まりから女性の問題を考えるグループへと変わって来たように思います。

・会報を読んでいて、私は未婚で子どもはいませんので、子育てに関する記事が時々自分の問題としてとらえられないときがあります。けれど、すこしでも、自分自身の問題として考えたり、悩んだりすることができるようになりたいと思います。この会報で繋がっているその人たちを身近に感じ、私自身勇気づけられているから。

◇会報の減額、アンケート回収率など  
毎月数名の退会者があります。入会の問い合わせも少しはありますが、ジリッ、ジリッと会員数が減少しているのが現実です。会員一人一人の呼びかけやお産本の出版が待たれます。アンケートの回収率は、締め切り後も届いていないので、少しは向上しました。年に一回しかないアンケートぜひ意見を寄せてほしいと思います。

◇保険は必要?について

へあんふぁんての保険は、二五年前、場所も時間も特定されない個人対個人の預け合いに保険を適用させるという当時としては、前例のない画期的なものでした。そして、何より保険がつくというところは、個人対個人の預け合いが社会的に認められたということにもなります。現在支払っている保険料は年間12万円です。会員数500人で割ると月額一人200円です。また、この保険は、あんふぁんてが主催するすべてのイベントにも適用になります。このところ、保険料の減額も減って来ていて、保険料の減額について保険会社と話し合っている必要はあるかと思いますが、保険は継続させるべきでしょう。

◇「どんな保育がほしいか」

このことについての詳細は、七月号9Pをご覧ください。また、中間報告のチラシにも書いてありますが、協力してくれる人を随時募集中です。補助金も出ているので、参加を望んでいます。

## ひとこと伝言板

氏名	住所	内容
東京 豊島区	池袋	今年に入ってから、あんふぁんての会報が、毎月の間隔で届くようになりました。毎月の会報が、毎月の間隔で届くようになりました。毎月の会報が、毎月の間隔で届くようになりました。
東京 豊島区	池袋	今年に入ってから、あんふぁんての会報が、毎月の間隔で届くようになりました。毎月の会報が、毎月の間隔で届くようになりました。毎月の会報が、毎月の間隔で届くようになりました。
東京 豊島区	池袋	今年に入ってから、あんふぁんての会報が、毎月の間隔で届くようになりました。毎月の会報が、毎月の間隔で届くようになりました。毎月の会報が、毎月の間隔で届くようになりました。







「鯨捕りの海」を観て思ったこと」  
世田谷区  
先日、気持ちの良い映画を観ましたので、紹介したいと思います。  
「鯨捕りの海」という映画です。  
小型捕鯨船、第三十一純友丸が日本の沿岸でゴンドウ鯨やツチ鯨を捕鯨する姿を追っている映画です。私は、日本の捕鯨は終わっているものと思っていたので、日本の沿岸で捕鯨が行われているという事実にも驚いてしまいました。  
現在、絶滅の危機に瀕しているといわれているシロナガスクジラ、ザトウ鯨などを含む十五種類ほどの鯨がIWC（国際捕鯨委員会）の取り決めによって、一九三〇年代から順次捕獲禁止されているそうです。しかし、ゴンドウ鯨類、ツチ鯨は、IWCの管理外で、日本が独自に捕獲枠を決めて捕獲を続けているという事です。  
私は、この映画を観て、六人の鯨捕り達の姿にきづけになりました。とにかく、男っぽくてカッコイイのです。都会で疲れた男たちを日頃目にしているせいか、体と技術と長年の勤を駆使して、海の狩猟をしている彼らの目は、きらきらして、こちらまでんだか元気にしてくれました。まだまだ日本の男たちも捨てたものではないと思いました。  
また、映画の中で捕獲調査の為に捕られたミンク鯨の解体作業も撮影されていました。鯨の肉は、無駄なく有効利用することが国際条約で決められているそうです。鯨は、ペテランの包丁方の手で、すばやく解体、区分けされています。美しい包丁さばきに見とれ



「引っ越ししました」  
米田ニュージャー  
夫の事務所都合で、イリノイ州よりニュージャーシー州に引っ越ししました。ニューヨークのすぐそば、人口が多いと感じます。住んでいる地域は、治安のよい住宅街なので、住環境は殆どかわらないのですが、townが違ふとちがうことも多く、いちいち、ひっかかることも多くあって、慣れるのに時間がかかりそうです。  
アメリカはとにかく広い。家が広い。（そうじしなくても、片づけなくても暮らせる）お風呂と野菜は日本のほうがいいな。

ながらも、人間は、こうして生き物の命を殺して生かされているという事にふと気づかされます。  
肉、魚、野菜、穀物のどれをとっても、生き物を殺して食うという食の本質を静かに教えてくれています。鯨がかわいそうと思う気持ちと同時に、自分たち人間の為に犠牲になった命を無駄にせず、きちんと頂くことの大切さを改めて考えさせられます。  
生産と消費とがかけ離れた所で生活しているながら、スーパーやコンビニで安易に食べ物を手に入れる事の出来る、都会の子どもたちに特に観て欲しいと思いました。  
今秋ロードショー公開の予定です。

## 家庭科 探検隊通信 No. 8

浦和市

37歳

さんが七月号で家庭科はますます重要になるのではと書いてくれました。ところが学校週五日制の実施に伴い、高等学校では家庭科の学習を現在の半分にしようという動きが強くなっています。女子のみ四単位から、やっと男女とも四単位になったのもつかの間、今度は男女とも二単位になるのは困ります。手縫いをはじめの高校一年生でも三分の一の生徒は玉結びが上手に出来ません。生徒達の生活技術はどんどん低下しています。それでいて、見栄えの良い作品ができないと苦情を言います。わたしも含めてだんだんと、「劣、多くして益少なし」という経験が不足しているのだなとおもいます。できない事を楽しむ。だんだん上手になる事を楽しむ。講義ばかりが増えそうです。実習も時間をかけて取り組めば、けっこう楽しいんだけどね。学校というところはなにしろ成績をつけなければならないので困ります。  
進学校は例外として結構実習のある家庭科は人気があります。それも手のかかるヤンチャな生徒が多いです。元気で創造性が旺盛。裏をかえせば指導に従わない。男子は食べることに積極的です。なにしろ食べたい一心。捨てるものでもなんとか食べようという知恵を使うのがなんとも微笑ましいです。長年、おとなしい女生徒ばかりを相手にしていた先生は手をやいています。

通信員 No. 1

あんふぁんて  
から  
あんふぁんてへ



「ゆとりの教育」なんてどこに？  
高知市  
小学校の休み時間が五分に短縮された。そのかわり、二時間目と三時間目の間が二十分から二十五分に五分延長された。  
給食もかきこむように食べているのに、四回ある休み時間のうち三回までが五分になって、どこまで急がせればいいのか。いつでも、どこでも「急いで早く！」とせかされる子ども。こんなことに疑問を抱くのは私だけみたい。だれにきいても「子ども達は平気そうよ。かえってまとめて遊べる休み時間があってうれしいって！」と返ってくる。  
うちの子は「お母さん、休み時間はいっぱいあった方がうれしいに決まってるよー。私は腹が立つ」と言う。子どもはあそんで育っていくよね。帰宅後、庭で弟とお料理。ここで遊ぶ九才の娘は、大人が思う以上に、重いものを重く思わずに背負っているのかもしれない。大人達の巧妙なだまし方に、自分の意見も持たされず従わされることも。「ゆとりの教育」ってどこにあるのか教えてほしい。

「うちの子ものび太かも」  
小平市  
五月号の「LDかもしれないわが子」その後「」に出ていた「のび太・ジャイアン症候群」私も読みました。息子五年生。友達と遊べず、ゲームとマンガの世界で楽しく過ごしているけれど、将来が心配。ウチの子ものび太かもしれない。LDかどうかのテストを受けるのが怖い。・・・  
でも、普通児とLD（学習困難児）とのボーダーラインの人間でも、それなりに成長はあるはず。それなりの、いやそれだからこそ幸福もあるはずと楽観しています。きめ細かな指導教育は、今の近くの公立中ではムリかな？と道路を考えているところです。  
「教員としての私、親としての私」  
とても忙しい。四月は家庭訪問、五月は学級経営案を計画、訪問の教案提出、その他事務的な仕事が山積みされています。その上、自分の研究が二つテーマがあって、目が回りそう。  
小学校教員として、児童と向き合う時間、母として我が子と向き合う時間が少ない。今年はずっと上りの年なので、子どもたちの様子はよく分っていたが、大変元気がよく、パワーにおされ気味である。この二ヶ月を乗り切れれば、一年間の見通しが立つ。

「ACingな私？の最近の考え」  
豊島区  
先日、AC特集に関わってみました。その後子どもの小学校での保護者会で「自分の子どもを思い出して今の子どもに対して思うことは？どう育てたいか？」という様なテーマで話し合いが持たれた。先生や他の方々は、特に「AC」に関心をお持ちでない、一般的な良心的なコメントであったと思う。（途中で退席）  
突然の私にとっては、痛いところをつかれたテーマだったので、つい「好きなことを・・・うーあ、うー・・・みつめて、お友達ともうまくやしながら、自分でごはんを食べ歩いてくればなにより」と今思い出して恥ずかしいことをしどろもどろで話した次第（ひとりずつまわってきたのダ）。  
でも、自分も子どもも、ほどほど人との関係をkeepしつつ（各自のペースで）好きなことでもみつめて、自活して・・・平易な言葉だけど、これに尽きると思います。このころは。



## 情報コーナー

★子育てに悩む人が自分を取り戻すための

託児付ワークショップ

子育てが辛い悩む人、自分はアダルト・チルドレンのまま母になった?と不安な人、心と体をほぐし、自分を語り合います。

11月6日(金)午前9時20分開場(託児受付)

9時45分～11時40分 動き易い服装で!

東京ウイメンズプラザ第二会議室+保育室

(渋谷区神宮前・青山こどもの城の隣り)

定員10名先着順(託児も) 参加費500円

希望者は10月26日までにあんふぁんて事務局へ申込をしてください。

◎ハミング・バードでのワークショップと同じ内容。ヨガで体をほぐした後、自分自身を語ります。日本アダルト・チルドレン協会(JACA)の方にも来ていただきます。

◎当日開場ではウイメンズプラザ祭りを実施しており、このワークショップもその一環としてあんふぁんてが企画したものです。

★子宮筋腫の情報求む!

子宮筋腫の治し方その他について、情報を集めています。何でも結構です。「あんふぁんて」で本をつくりませんか?

☆現役・OG(手術した方)・予備軍・医者や看護婦・興味のある人・東洋医学系の人、連絡下さい。

目黒区

◆会報への投稿はいつでも募集集中!特集やりたい人も大歓迎。イラストや時もOK。

## 人間模様いろいろあったけど

大阪市

しばらく投稿していませんでした。六月号の田代さんの文章に誘われて、思わずペンをとりました。六月号には、グループリストの改訂版も掲載されていましたね。WeDoも紆余曲折を経て(というほどの年数ではないのですが)四月目に入りました。この間、「来るものは拒まず、去る者は追わず」を、モットーに運営に携わらせて頂きました。

紆余曲折を語るほどの年数でなくとも、人が寄り合って「自分の考え」を出せば、それなりの波風もたちます。波風は何度か起こりましたが、極めつけは、昨年から今年にかけて。WeDoの活動は、もうおしまいにしなりました。活動は、それとも私一人抜ける方法もある・とずいぶん考えました。それでも、始めてしまった会をグチャグチャ状態で投げ出してしまおうのでは申し訳なく、「続けたい」と意思表示してくださった方々に運営についての意見を出して頂いて、それらを集計・調整したのが、一月から四月にかけて。五月から、ようやく新しい形で再スタートできました。

WeDoは、再就職のノウハウを語る場でもなく、ましてや自分の再就職についてを自慢する場でもない。それでも、伝えられる事実は、人それぞれで違うとらえ方になります。この「人によってとらえ方が違う」のは当然のこと、その「違い」を楽しむことができればよいのですが、楽しむほどには分析的・科学的になれなかったようです。「今、収入のない私は、WeDoには居づらい」という

声を耳にすることもありました。

「お金」って、どんな存在なのかな? お金は、人の心や態度を強くしたり弱くしたりする力があるのでしょうか。

お金とはおおよそ縁遠い「音楽」を仕事にしようとするスタートをきった私は、相変わらず経済的には弱い状態なのですが、そこでの経験とグループ活動での経験を通して、以前にも増してうたれ強くなっています。

人生は、中年からおもしろく・・・。

先日、こんな言葉と出会いました。「夢は自分の中で描いた時から、夢の方から近づいてくる。分相応な夢ならいつか出会う。不相応なら、すれ違うだろう」と。自分の夢と出会えるべく日夜フントーいたしました。

ひとつ残念なことは、グループ活動から離れた方とは、その後お付き合いが途絶えてしまいがちなこと。嫌われてしまったなら、連絡をとるのも申し訳ないと思いつつ、少し置いて「今はどうしてるの?」と心の中で問いかけています。



★「アレルギー」の子の特集しませんでしたか?

以前の特集とても興味深く読みましたが、続編として、ただ「こんな症状だった」だけでなく、それに対して回りの人がどう反応したかも含めて、いろいろ考えていきたいです。たとえば、回りの無理難題。アトピーの子を連れてたら、電車の中で知らないおばさんに「まあ、かわいそうに。どうしてこんなにしちゃうの?」と同情され泣きだしたくなっちゃうとお母さんとか、「母親の心がけが悪い」と姑に一方的に怒られちゃうって、でも食事制限には協力してもらえなかった人とか、いろいろ悩んでいる人が多いのではないかな? 原稿は10月25日までに事務局へ送ってください。

(豊島区)

★あんふぁんてセピア同窓会とあんふぁんてセピア第三世紀スタートのお知らせ

お久しぶりです。お元気ですか。五年前の九月、しみじみと勝手に終わってしまった今どきの母親たちの新聞「あんふぁんてセピア」の同窓会を開きます。なつかしい顔ぶれでまたおしゃべりしましょう。

それから、セピア第三世紀を「自分のところを一步出て語る気軽な場」としてスタートしたいと思っています。ぜひ近況をお便り下さい。またそのまま新聞に載っちゃうけどね。お待ちします。

同窓会は10月24日(土)夜の予定。場所は人数と相談してあとから決めます。参加の方は、10月20日頃迄に

へ。セピアへのお更り FAX (〇〇と司)

## 新連載

## 角谷のお産日記 ①

12月6日(出)

助産院の初診日。三十分たっぶり先生と話をし、夫も子どもと一緒に診察室で過ごした。病院の冷たい検診とは大違い。病院の事務的な検診の中で納得がいくまで質問などすることはとても勇気がいる。でも、そんな勇気を必要とする状況の方が間違っていると思った。二月出産の人が多いせいか、待ち合い室も混んでいた。助産院も繁盛しているようだ。検診費用は長男の時と変わっていない。初診四千円、次からは三千円。

12月14日(月)

出産した友人を訪ねる。千葉の実家近くで一番はやっているこの病院は、月平均五十件のお産を扱うそう。儲かって、裏の家を買い取って増築したばかり。個室もビジネスホテルのように綺麗だった。昼間だったので、赤ちゃんが同室にいて抱かせてもらった。じきに泣き出し、友人が抱くと必死でお乳を探す様子なのに、「えー、さっき(一時間前)飲んだばかりじゃない。次は四時だよ」と言って、一向に与える様子がないのにも驚き。これが、三時間置き授乳ってやつか。なんかかわいそう。病院の椅子を見て、「(会陰)切ったの?」と尋ねると「もちろん、切ったよ!」だって。きゅーっ。帰りにトイレを使うと、そばが陣痛室。改築しても、窓はないのは変わらないようだ。こんな所に一人で一時間もいたら参ってしまう(実際、友人は一人目の時にそうされたそう)。

## ★あんふぁんてが考える「少子化」って

なにあに?ーとしま・あんふぁんて連続講座

(豊島区委嘱学級連続四回講座)

第2回・少子化時代の子育て

10月12日(月)午前10時～12時

講師・あんふぁんて事務局 古知・川崎

第3回・厚生白書から見えてきた少子化問題

11月16日(月)午前10時～12時

講師・今年度厚生白書の企画・執筆担当者

講師・(むくの)美智子氏

場所:池袋・エポック10 保育10名先着順

申込締切は4日前までに事務局へ

★どんな保育がほしい会・ミーティング

10月12日(月)11月16日(月)1時～3時

エポック10保育室にて(当日午前中はとしま・あんふぁんての講座)参加者は事務局まで!

## ハスケジュールメモ

10月19日(月)ミーティング (事務局)

10月24日(土)土曜あんふぁんて(幾代宅)

夜6時から大人の会。持ち込み歓迎。

10月26日(月)お産ミーティング(事務局)

11月9日(月)11月号送付作業 (事務局)

◎土曜あんふぁんて以外の子連れOK・井当持参。参加者は事前に事務局に連絡を。

◆9月末の会員数は460名です。

●あんふぁんてでは会員の会費のみで運営している会なので、支払いがまだの方は至急お願い。会費が切れても本人から連絡がない限り、退会・休会等の措置は取れません。転居なども必ず連絡ください。



## 覚えていますか？チェルノブイリの原発事故を！？

(その87)

&lt;プラスチック製品について&gt;

高知市

この頃“ダイオキシン・環境ホルモン”といった言葉を聞かない日はありません。ペットボトル・トレイなど多くのプラスチック製品があふれています。知ってる方も多いかと思いますが、それらの材質表示マークを調べてみました。(ペットボトルの底やトレイの裏に記しています。)

♻️:ポリエチレンテレフタレート(飲料用・醤油・酒のペットボトルなど) ♻️:高密度ポリエチレン(キッチン用ポリ袋など) ♻️:ポリ塩化ビニル(ラップ・玩具など) ♻️:低密度ポリエチレン(高圧ゴミ袋など) ♻️:ポリプロピレン(ドングリ・皿・コップなど) ♻️:ポリスチレン(コップ・トレイなど) ♻️:その他。ダイオキシンの原因とされる物はこの中では塩化ビニルなど塩素系のものですが、この表示のように材料を知ることによって分別もしやすくなるように思います。

ちなみにダイオキシンは、一度脂肪に蓄えられて胆汁となり、小腸・大腸で再吸収されるので、その時に野菜などを摂取して食物繊維があった場合、それらに吸着して体外に出されるそうです。ご飯と野菜中心の食生活が見直されつつあるようです。

&lt;7/5発行の記事を読んで&gt;

豊島区

新ガイドラインは、「米国が戦争をするとき、いつでもお手伝いをします。」と書き抜いてあったのを読んでびっくり。“えっ！そんなことが起こっていたワケ！？”という無知ぶりですが、、、これだけではなく“んっ！？”と言うようなことがお役所関係で《いつの間にか》決まっちゃっていることが時々ありますよね。

一つの出来事は(法律の解釈なども)とらえ方により幾通りにもその人により異なることもあるでしょうが、客観的にももっと取り上げて欲しいなと思います。身近な出来事として学校でも考えるチャンスをとると思うけど、ムリかなあ。

## ☆新事務局までの地図☆

☆当会について詳細を知りたい場合、書に〒・住所・氏名・☎を明記し、切手四百円分(なるべく少額切手)を送って下さい。入会希望の場合はなるべく会費六ヶ月分(三千円)以上まとめて、郵便局の振替口座に払い込んで下さい。

第242号(毎月1回5日発行)  
1998年10月5日発行  
(1975年7月26日初刊発行)

あんふぁんて 10月号

発行人 /  
発行所 / あんふぁんて出版部

電話  
(12時～2時受付)

定価 / 500円  
振替口座 /  
加入者名 / あんふぁんての会

©本誌掲載記事の無断転載を禁じます。